

9:22 あなたがたはまた、タブエラでも、マサでも、キプロテ・ハタアワでも、主を怒らせた。

9:23 主があなたがたをカデシュ・バルネアから送り出されるとき、「上って行って、わたしがあなたがたに与えている地を占領せよ。」と言われたが、あなたがたは、あなたがたの神、主の命令に逆らい、主を信ぜず、その御声にも聞き従わなかった。

9:24 私があなたがたを知った日から、あなたがたはいつも、主にそむき逆らってきた。

9:25 それで、私は、その四十日四十夜、主の前にひれ伏していた。それは主があなたがたを根絶やしにすると言われたからである。

9:26 私は主に祈って言った。「神、主よ。あなたの所有の民を滅ぼさないでください。彼らは、あなたが偉大な力をもって贖い出し、力強い御手をもってエジプトから連れ出された民です。」

9:27 あなたのしもべ、アブラハム、イサク、ヤコブを覚えてください。そしてこの民の強情と、その悪と、その罪とに目を留めないでください。

9:28 そうでないで、あなたがそこから私たちを連れ出されたあの国では、『主は、約束した地に彼らを導き入れることができないので、また彼らを憎んだので、彼らを荒野で死なせるために連れ出したのだ。』と言うでしょう。

9:29 しかし彼らは、あなたの所有の民です。あなたがその大いなる力と伸べられた腕とをもって連れ出された民です。」

点を教えてあげることは必要です。

ただしそれは愛によらなくてはなりません。関係が崩れた場合、向こうが悪いのだからと切り捨てるのは愛ではありません。モーセは「四十日四十夜、主の前にひれ伏して」、「神、主よ。あなたの所有の民を滅ぼさないでください。」と祈りました。それは「主があなたがた（イスラエル）を根絶やしにすると言われたから」です。すなわちイスラエルを救うためです。「パンも食わず、水も飲まぬ」い40日の荒野での祈りは、命に関わるものですが、モーセの民への愛はそれほどのものだったのです。

そして彼は神様の栄光に根拠をすえました。すなわち、「あなたがそこから私たちを連れ出されたあの国では、『主は、約束した地に彼らを導き入れることができないので、また彼らを憎んだので、彼らを荒野で死なせるために連れ出したのだ。』と言うでしょう。」と、主の栄光に関わるのでお願いしますということです。これは単に主との取引ではありません。モーセは本当に主の栄光を慕っていたのです。そのために生涯をかけたほどですから。

このようなモーセと、彼を動かした主によって導かれたイスラエルですが、それはまた私たちの姿でもあります。モーセほどの指導者はいないかもしれませんが、私たちは主と主によって用いられた多くの指導者や信仰の先輩によって導かれました。そして今日があることを思うと、確信、感謝、希望にあふれ、そして自省の思いも与えられるでしょう。そのような深い理解によって主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

さらにも信仰の指導者としてモーセの善き姿が表されます。彼は民の不信仰を明らかにします。問題

